

## 【第一回】佐藤忠雄『見ることと見られること』(上段・読み/下段・書き)

両親がともに甘ければ子どもはかならずだめになると <sup>1</sup>断言できるだろうか。そんなことはいえないと思う。

<sup>2</sup>信仰が <sup>3</sup>良心をつくるのだろうか、父親が良心をつくるのだろうか、父親を <sup>4</sup>兼ねた母親が良心をつくるのだろうか、それらはいずれも良心の重要な源にちがいないが、そもそもそれだけに限定するのは <sup>5</sup>了見が <sup>6</sup>狭いと思う。人が見守られていると感じるのは、神や霊からだけではない。また幼児期の <sup>7</sup>権威ある父親の <sup>8</sup>記憶からだけでもない。日本人なら父親以上に母親から見守られていると感じるであろうし、おとなになってからでも、父親には <sup>9</sup>反抗できても母親を悲しませることはできないという人は多いだろう。親たちだけでなく、兄弟 <sup>10</sup>姉妹、<sup>11</sup>親戚、近所の人びと、友だち、教師、<sup>12</sup>母校、会社、さらには <sup>13</sup>国家が自分を見守っているという <sup>14</sup>感覚をもつ人もいる。

神に見守られているという感覚が人間の良心のもつとも強力な <sup>15</sup>構成 <sup>16</sup>要素であったという事実は <sup>17</sup>否定できないし、尊重すべきだが、全世界的な <sup>18</sup>規模でそれが <sup>19</sup>衰えつつあることも事実である。神の代理人として <sup>20</sup>幼児に権威というもの原型を叩き込むような父親というものも、昔は多かったらしいが、いまだこれも全世界的に <sup>21</sup>封建的あるいは権威主義的なものとして否定されつつある。では、人間の良心を <sup>22</sup>形成するものはなくなってしまうのか。私はそうは思わない。人間の良心を形成してきたのは、もっと <sup>23</sup>広範な人びとの目であり、母親をはじめとする家族や友だちや <sup>24</sup>地域社会や職業社会の <sup>25</sup>連帯の目だったのである。またある時期、ある社会では、<sup>26</sup>独裁者や国家が神に代わって人びとの良心になった。もっともこの良心は、体制が一転するとたちまち <sup>27</sup>崩壊してしまうような <sup>28</sup>頼りないもので、<sup>29</sup>伝統的な信仰によるそれとは <sup>30</sup>比較にならないようにみえるが、機能としては同じである。

両親がともに甘ければ子どもはかならずだめになると <sup>1</sup>断言できるだろうか。そんなことはいえないと思う。

<sup>2</sup>シンコウが <sup>3</sup>リョウシンをつくるのだろうか、父親が良心をつくるのだろうか、父親を <sup>4</sup>かねた母親が良心をつくるのだろうか、それらはいずれも良心の重要な源にちがいないが、そもそもそれだけに限定するのは <sup>5</sup>リョウケンが <sup>6</sup>セマイと思う。人が見守られていると感じるのは、神や霊からだけではない。また幼児期の <sup>7</sup>ケニある父親の <sup>8</sup>キオクからだけでもない。日本人なら父親以上に母親から見守られていると感じるであろうし、おとなになってからでも、父親には <sup>9</sup>ハンコウできても母親を悲しませることはできないという人は多いだろう。親たちだけでなく、兄弟 <sup>10</sup>シマイ、<sup>11</sup>シンセキ、近所の人びと、友だち、教師、<sup>12</sup>ボコウ、会社、さらには <sup>13</sup>コツカが自分を見守っているという <sup>14</sup>カンカクをもつ人もいる。

神に見守られているという感覚が人間の良心のもつとも強力な <sup>15</sup>コウセイ <sup>16</sup>ヨウソであったという事実は <sup>17</sup>ヒテイできないし、尊重すべきだが、全世界的な <sup>18</sup>キボでそれが <sup>19</sup>オトロエつつあることも事実である。神の代理人として <sup>20</sup>ヨウジに権威というもの原型を叩き込むような父親というものも、昔は多かったらしいが、いまだはこれも全世界的に <sup>21</sup>ホウケンテキあるいは権威主義的なものとして否定されつつある。では、人間の良心を <sup>22</sup>ケイセイするものはなくなってしまうのか。私はそうは思わない。人間の良心を形成してきたのは、もっと <sup>23</sup>コウハンな人びとの目であり、母親をはじめとする家族や友だちや <sup>24</sup>チイキ社会や職業社会の <sup>25</sup>レントアイの目だったのである。またある時期、ある社会では、<sup>26</sup>ドクサイシャや国家が神に代わって人びとの良心になった。もっともこの良心は、体制が一転するとたちまち <sup>27</sup>ホウカイしてしまうような <sup>28</sup>タヨリないもので、<sup>29</sup>デントウテキな信仰によるそれとは <sup>30</sup>ヒカクにならないようにみえるが、機能としては同じである。

## 【第2回】星川安之『アクセシブルデザインの発想』

不便さから生まれる「便利製品」

〈上段・読み

／下段・書き〉

不便さ<sup>31</sup>調査では、<sup>32</sup>触覚による<sup>33</sup>識別が困難で不便を感じている<sup>34</sup>製品の第一位として、シャンプーとリンスがあがった。この<sup>35</sup>結果を<sup>36</sup>製造元の<sup>37</sup>企業に知らせることが必要ではないかと考え、各社の<sup>38</sup>広報室に、E&Cプロジェクトの目的と不便さ調査について<sup>39</sup>紹介し、調査結果の<sup>40</sup>報告会を行いたいと手紙を出した。一九九二年に行われた報告会には、<sup>41</sup>大手約一〇社の本部長クラスの人たちが参加してくれた。

報告会では、『朝子さんの一日』のモデルになった河辺豊子さんが、目の不自由な人の一日を<sup>42</sup>当事者として紹介するとともに、シャンプー、リンスの識別に困っている人が多いことを、ユーモアを<sup>43</sup>交えて話した。その<sup>44</sup>軽妙な語り口に、<sup>45</sup>硬かった会場の空気は一気にほぐれた。各社は、シャンプー、リンスを触って<sup>46</sup>区別するために行ってきた取り組みについて、それぞれ報告をした。シャンプー、リンスの点字シールを<sup>47</sup>配布している企業、シャンプーとリンスの<sup>48</sup>容器の大きさを変えている企業など、それぞれ<sup>49</sup>工夫をしていたが、全社が<sup>50</sup>採用することの難しい工夫だった。そんな中、花王株式会社で包装容器の開発をしている人が発言した。

「花王では、数年前から毎年、目の不自由なお客様から、「シャンプーの前にリンスをしてしまった」「シャンプーの後にまたシャンプーをしてしまった」といった声をいただいています。そこで一年前からプロジェクトを組み、<sup>51</sup>試作品を作って目の不自由な人、目が見える人にそれを試してもらってきました。その結果、花王のシャンプー容器の側面に、ギザギザ(きざみ)を付けることにしました。他社がリンス容器にきざみを付けると使う方が<sup>52</sup>混乱すると思います、実用新案登録をしましたが、<sup>53</sup>権利は無償で<sup>54</sup>放棄することになっています。ご<sup>55</sup>賛同をいただけるのなら、シャンプー容器にきざみを付ける工夫を<sup>56</sup>共有できれば、と思います。」

<sup>57</sup>冒頭で紹介したように、このきざみは、その後JIS<sup>58</sup>規格に採用されたことも大きく影響し、日本で<sup>59</sup>販売されるほぼすべてのシャンプー容器の側面に、付けられるに<sup>60</sup>至っている。

不便さ<sup>31</sup>チヨウサでは、<sup>32</sup>シヨツカクによる<sup>33</sup>シキベツが困難で不便を感じている<sup>34</sup>セイヒンの第一位として、シャンプーとリンスがあがった。この<sup>35</sup>ケツカを<sup>36</sup>セイゾウモトの<sup>37</sup>キギヨウに知らせることが必要ではないかと考え、各社の<sup>38</sup>コウホウ室に、E&Cプロジェクトの目的と不便さ調査について<sup>39</sup>シヨウカイし、調査結果の<sup>40</sup>ホウコク会を行いたいと手紙を出した。一九九二年に行われた報告会には、<sup>41</sup>オオテ約一〇社の本部長クラスの人たちが参加してくれた。

報告会では、『朝子さんの一日』のモデルになった河辺豊子さんが、目の不自由な人の一日を<sup>42</sup>トウジシャとして紹介するとともに、シャンプー、リンスの識別に困っている人が多いことを、ユーモアを<sup>43</sup>マジエて話した。その<sup>44</sup>ケイミヨウな語り口に、<sup>45</sup>カタかった会場の空気は一気にほぐれた。各社は、シャンプー、リンスを触って<sup>46</sup>クベツするために行ってきた取り組みについて、それぞれ報告をした。シャンプー、リンスの点字シールを<sup>47</sup>ハイフしている企業、シャンプーとリンスの<sup>48</sup>ヨウキの大きさを変えている企業など、それぞれ<sup>49</sup>クフウをしていたが、全社が<sup>50</sup>サイヨウすることの難しい工夫だった。そんな中、花王株式会社で包装容器の開発をしている人が発言した。

「花王では、数年前から毎年、目の不自由なお客様から、「シャンプーの前にリンスをしてしまった」「シャンプーの後にまたシャンプーをしてしまった」といった声をいただいています。そこで一年前からプロジェクトを組み、<sup>51</sup>シサク品を作って目の不自由な人、目が見える人にそれを試してもらってきました。その結果、花王のシャンプー容器の側面に、ギザギザ(きざみ)を付けることにしました。他社がリンス容器にきざみを付けると使う方が<sup>52</sup>コンランすると思います、実用新案登録をしましたが、<sup>53</sup>ケンリは無償で<sup>54</sup>ホウキすることになっています。ご<sup>55</sup>サンドウをいただけるのなら、シャンプー容器にきざみを付ける工夫を<sup>56</sup>キヨウユウできれば、と思います。」

<sup>57</sup>ボウトウで紹介したように、このきざみは、その後JIS<sup>58</sup>キカクに採用されたことも大きく影響し、日本で<sup>59</sup>ハンバイされるほぼすべてのシャンプー容器の側面に、付けられるに<sup>60</sup>イタっている。

## 【第3回】村上春樹『やがて哀しき外国語』(へ上段・読み/下段・書き)

考えてみれば、<sup>61</sup>期間の<sup>62</sup>長短の差こそあれ今までにいろんな外国語を勉強した。中学高校ではもちろん英語をやった。大学ではドイツ語をとった。大学を出たあとで、フランス語の堪能な友人からフランス語を教わった。フランス語は、スペイン語のときと同じように、<sup>63</sup>常識程度の知識がないと英語の小説の<sup>64</sup>翻訳をするときかなり困るからやめたようなものである。実をいうとフランスに行ったことはまだないので、喋った<sup>65</sup>経験はまったくない。読むだけだ。ギリシャ語は、ギリシャに住むために日本で<sup>66</sup>某大学の<sup>67</sup>講座にかよって、けっこう長く勉強した。(略) それぞれに勉強しているときにはけっこう楽しんでやったように思うし、その当時は自分は語学に向いているのかもしれないと思っていた。

でも今になって<sup>68</sup>振り返って考えてみると、それはどうやら僕の思い違いであつたように思う。僕は<sup>69</sup>傾向的、<sup>70</sup>性格的に外国語の<sup>71</sup>習得に決まっていたのではないし、とくに年を取れば取るほど、その「向いてなさ」が自分の中でより<sup>72</sup>顕著になってきたような気がする。最近では「もう<sup>73</sup>駄目だな。これ以上<sup>74</sup>真剣に語学はできないな」とあらためて思うようになった。というか、自分の中における外国語習得の<sup>75</sup>優先<sup>76</sup>順位が年月の<sup>77</sup>経過とともにどんどん低下しているのである。

そのいちばん大きな原因はやはり、語学の勉強に<sup>78</sup>割くための時間が<sup>79</sup>惜しくなってきたことだろう。若いうちは時間はいくらでもあるし、<sup>80</sup>未知の言語を習得するのだという熱のようなものもある。そこには<sup>81</sup>知的<sup>82</sup>好奇心があり、何かを<sup>83</sup>征服してやろうという昂<sup>たかぶり</sup>がある。新しい<sup>84</sup>種類のコミュニケーションに対する<sup>85</sup>期待もある。一種の知的ゲームでさえある。でも四十を越して、この先どれくらいの<sup>86</sup>有効年月が自分のために残されているのかということがそろそろ気になってくると、スペイン語やトルコ語の動詞活用をやみくもに覚えたりするよりは、自分にとって<sup>87</sup>切実に必要な作業があるのではないかという気持ちが先に立ってくる。そしてそういうことが気になりだすと、語学の勉強というのとはなかなかできない。それほどあくせく<sup>88</sup>努力をしなくても、まるで空気を<sup>89</sup>吸い込むように自然にどんどん語学が見につくというような天才ならともかく(こういう人は僕のまわりにも実際に何人かいる)、僕みたいに<sup>90</sup>苦労しないと何も身につかない人間は、年をとってきるとかなり苦しい。

考えてみれば、<sup>61</sup>キカンの<sup>62</sup>チヨウタンの差こそあれ今までにいろんな外国語を勉強した。中学高校ではもちろん英語をやった。大学ではドイツ語をとった。大学を出たあとで、フランス語の堪能な友人からフランス語を教わった。フランス語は、スペイン語のときと同じように、<sup>63</sup>ジョウシキ程度の知識がないと英語の小説の<sup>64</sup>ホンヤクをするときかなり困るからやめたようなものである。実をいうとフランスに行ったことはまだないので、喋った<sup>65</sup>ケイケン<sup>66</sup>はまったくない。読むだけだ。ギリシャ語は、ギリシャに住むために日本で<sup>66</sup>ボウ大学の<sup>67</sup>コウザにかよって、けっこう長く勉強した。(略) それぞれに勉強しているときにはけっこう楽しんでやったように思うし、その当時は自分は語学に向いているのかもしれないと思っていた。

でも今になって<sup>68</sup>フリカエって考えてみると、それはどうやら僕の思い違いであつたように思う。僕は<sup>69</sup>ケイコウ的、<sup>70</sup>セイカク的に外国語の<sup>71</sup>シユウトクに決まっていたのではないし、とくに年を取れば取るほど、その「向いてなさ」が自分の中でより<sup>72</sup>ケンチヨになってきたような気がする。最近では「もう<sup>73</sup>ダメだな。これ以上<sup>74</sup>シンケンに語学はできないな」とあらためて思うようになった。というか、自分の中における外国語習得の<sup>75</sup>ユウセン<sup>76</sup>ジュンイが年月の<sup>77</sup>ケイカとともにどんどん低下しているのである。

そのいちばん大きな原因はやはり、語学の勉強に<sup>78</sup>サクための時間が<sup>79</sup>オクしくなってきたことだろう。若いうちは時間はいくらでもあるし、<sup>80</sup>ミチの言語を習得するのだという熱のようなものもある。そこには<sup>81</sup>チテキ<sup>82</sup>コウキシンがあり、何かを<sup>83</sup>セイフクしてやろうという昂<sup>たかぶり</sup>がある。新しい<sup>84</sup>シュルイのコミュニケーションに対する<sup>85</sup>キタイもある。一種の知的ゲームでさえある。でも四十を越して、この先どれくらいの<sup>86</sup>ユウコウ年月が自分のために残されているのかということがそろそろ気になってくると、スペイン語やトルコ語の動詞活用をやみくもに覚えたりするよりは、自分にとって<sup>87</sup>セツジツに必要な作業があるのではないかという気持ちが先に立ってくる。そしてそういうことが気になりだすと、語学の勉強というのとはなかなかできない。それほどあくせく<sup>88</sup>ドリヨクをしなくても、まるで空気を<sup>89</sup>スイコむように自然にどんどん語学が見につくというような天才ならともかく(こういう人は僕のまわりにも実際に何人かいる)、僕みたいに<sup>90</sup>クロウしないと何も身につかない人間は、年をとってきるとかなり苦しい。

## 【第4回】「子どもの権利条約」

〈上段・読み／下段・書き〉

この条約の締約国は、国際連合憲章において宣明された<sup>91</sup>原則によれば、人類社会のすべての構成員の<sup>92</sup>固有の尊厳及び平等の<sup>93</sup>奪い得ない権利を認めることが世界における自由、<sup>94</sup>正義及び平和の基礎を成すものであることを<sup>95</sup>考慮し、国際連合<sup>96</sup>加盟国の国民が、国際連合憲章において、基本的<sup>97</sup>人権並びに人間の尊厳及び価値に関する信念を改めて確認し、かつ、一層大きな自由の中で社会的進歩及び生活水準の<sup>98</sup>向上を促進することを<sup>99</sup>決意したことに<sup>100</sup>留意し、国際連合が、世界人権<sup>101</sup>宣言及び人権に関する国際規約において、すべての人は人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治的意見その他の意見、国民的若しくは社会的出身、<sup>102</sup>財産、出生又は他の地位等によるいかなる差別もなしに同宣言及び同規約に<sup>103</sup>掲げるすべての権利及び自由を享有することができることを宣明し及び合意したことを認め、国際連合が、世界人権宣言において、児童は<sup>104</sup>特別な保護及び<sup>105</sup>援助についての権利を享有することができることを宣明したことを<sup>106</sup>想起し、家族が、社会の基礎的な集団として、並びに家族のすべての構成員特に<sup>107</sup>児童の成長及び福祉のための自然な環境として、社会においてその<sup>108</sup>責任を十分に引き受けられることができるよう必要な保護及び援助を与えられるべきであることを<sup>109</sup>確信し、児童が、その<sup>110</sup>人格の完全なかつ<sup>111</sup>調和のとれた<sup>112</sup>発達のため、家庭環境の下で幸福、<sup>113</sup>愛情及び理解のある<sup>114</sup>雰囲気の中で成長すべきであることを認め、児童が、社会において個人として生活するため十分な<sup>115</sup>準備が整えられるべきであり、かつ、国際連合憲章において宣明された<sup>116</sup>理想の<sup>117</sup>精神並びに特に平和、尊厳、寛容、自由、平等及び連帯の精神に従って育てられるべきであることを考慮し、児童に対して特別な保護を与えることの必要性が、一九二四年の児童の権利に関するジュネーヴ宣言及び一九五九年一月二〇日に国際連合総会で<sup>118</sup>採択された児童の権利に関する宣言において<sup>119</sup>述べられており、また、世界人権宣言、市民的及び政治的権利に関する国際規約（特に第23条及び第24条）、経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約（特に第10条）並びに児童の福祉に係する<sup>120</sup>専門機関及び国際機関の規程及び関係文書において認められていることに留意し、

(略)

この条約の締約国は、国際連合憲章において宣明された<sup>91</sup>ゲンソクによれば、人類社会のすべての構成員の<sup>92</sup>コウウの尊厳及び平等の<sup>93</sup>ウバイ得ない権利を認めることが世界における自由、<sup>94</sup>セイギ及び平和の基礎を成すものであることを<sup>95</sup>コウリヨし、国際連合<sup>96</sup>カメイ国の国民が、国際連合憲章において、基本的<sup>97</sup>ジンケン並びに人間の尊厳及び価値に関する信念を改めて確認し、かつ、一層大きな自由の中で社会的進歩及び生活水準の<sup>98</sup>コウジョウを促進することを<sup>99</sup>ケツイしたことに<sup>100</sup>リュウイし、国際連合が、世界人権<sup>101</sup>センゲン及び人権に関する国際規約において、すべての人は人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治的意見その他の意見、国民的若しくは社会的出身、<sup>102</sup>ザイサン、出生又は他の地位等によるいかなる差別もなしに同宣言及び同規約に<sup>103</sup>カガけるすべての権利及び自由を享有することができることを宣明し及び合意したことを認め、国際連合が、世界人権宣言において、児童は<sup>104</sup>トクベツな保護及び<sup>105</sup>エンジョについての権利を享有することができることを宣明したことを<sup>106</sup>ソウキし、家族が、社会の基礎的な集団として、並びに家族のすべての構成員特に<sup>107</sup>ジドウの成長及び福祉のための自然な環境として、社会においてその<sup>108</sup>セキニンを十分に引き受けられることができるよう必要な保護及び援助を与えられるべきであることを<sup>109</sup>カクシンし、児童が、その<sup>110</sup>ジンカクの完全なかつ<sup>111</sup>チョウワのとれた<sup>112</sup>ハツタツのため、家庭環境の下で幸福、<sup>113</sup>アイジョウ及び理解のある<sup>114</sup>フンイキの中で成長すべきであることを認め、児童が、社会において個人として生活するため十分な<sup>115</sup>ジュンビが整えられるべきであり、かつ、国際連合憲章において宣明された<sup>116</sup>リソウの<sup>117</sup>セイシン並びに特に平和、尊厳、寛容、自由、平等及び連帯の精神に従って育てられるべきであることを考慮し、児童に対して特別な保護を与えることの必要性が、一九二四年の児童の権利に関するジュネーヴ宣言及び一九五九年一月二〇日に国際連合総会で<sup>118</sup>サイタクされた児童の権利に関する宣言において<sup>119</sup>ノべられており、また、世界人権宣言、市民的及び政治的権利に関する国際規約（特に第23条及び第24条）、経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約（特に第10条）並びに児童の福祉に係する<sup>120</sup>センモン機関及び国際機関の規程及び関係文書において認められていることに留意し、(略)

## 【第5回】上野千鶴子『へ私』探しゲーム』(上段・読み/下段・書き)

「121欲望が商品に122先行する」という考えは、十九世紀的な123無邪気な124信念である。「必要だから」作るとするのは、初期産業社会の生産者の、125主観的な126倫理観にすぎない。産業127革命を128担ったイノベーターたちをつき動かしたものは何だったのか？ たとえば明治時代に自動織機の129発明者であった豊田佐吉を130困難な道に立ち向かわせたのは、日がな一日手織り機ほたに向かう母の苦勞を、少しでも軽くしたいという孝心だったという「131美談」が語り伝えられている。なるほど「あれば132便利」な豊田式自動織機は、たちまち全国の機業地に広まった。しかし、「機ほたを織る」という133行為に手織り以外の134代替的135選択肢が与えられない時代には、人々は機織りの苦勞を軽くしたいとは夢にも思わないうちにちがいない。人々はないものをほしがったりはしない。豊田織機の発明が人々の欲望を創り出したので、その逆ではない。豊田佐吉が発明したのは、モノではなく実は欲望の方だった。そもそもイノベーター自身が、136現状不満型のパーソナリティの持ち主だと言える。彼らはまだ137存在しもしないオルターナティブを夢見た夢想家——革命家なのだ。イノベーターは、発明を通じて自分の138欲求不満を人々に伝播する。139慢性的な現状不満型社会 frustrated society——産業社会とはその140代名詞だ。

商品が欲望を作り出すのであってその逆ではない。行動学では人々に一定の141反応をひきおこすモノを解発142信号という。商品は欲望の解発143装置なのだ。(略)ほんの少し前まで、真冬にアイスクリームが食べたいとダダをこねる子供は、雪の日にシュヴァルツ・ヴァルトにまま娘こを母摘みに行かせるグリム童話の中の144意地悪なまま母ほどに、無理145難題をふきかけるけんのんな存在だった。しかし、146不可能なことを人々は望まない。ほんとうに無理なことなら、親は子供の欲望をピシャリと抑えつける。子供は真冬にもアイスクリームが売っていることを知っているから欲しがらるのだ。手に入ることを知っているのに、その欲望を147抑制するのは難しい。

現在発展148途上国の人々を149襲っているとはじめない150消費欲求はそのようなものだ。

「121ヨクボウが商品に122センコウする」という考えは、十九世紀的な123ムジャキな124シンネンである。「必要だから」作るとするのは、初期産業社会の生産者の、125シユカンテキな126リンリ観にすぎない。産業127カクメイを128ニなったイノベーターたちをつき動かしたものは何だったのか？ たとえば明治時代に自動織機の129ハツメイ者であった豊田佐吉を130コンナンな道に立ち向かわせたのは、日がな一日手織り機ほたに向かう母の苦勞を、少しでも軽くしたいという孝心だったという「131ビダン」が語り伝えられている。なるほど「あれば132ベンリ」な豊田式自動織機は、たちまち全国の機業地に広まった。しかし、「機ほたを織る」という133コウイに手織り以外の134ダイタイ的135センタクシが与えられない時代には、人々は機織りの苦勞を軽くしたいとは夢にも思わないうちにちがいない。人々はないものをほしがったりはしない。豊田織機の発明が人々の欲望を創り出したので、その逆ではない。豊田佐吉が発明したのは、モノではなく実は欲望の方だった。そもそもイノベーター自身が、136ゲンジヨウ不満型のパーソナリティの持ち主だと言える。彼らはまだ137ソンザイしもしないオルターナティブを夢見た夢想家——革命家なのだ。イノベーターは、発明を通じて自分の138ヨツキユウ不満を人々に伝播する。139マンセイテキな現状不満型社会 frustrated society——産業社会とはその140ダイメイシだ。

商品が欲望を作り出すのであってその逆ではない。行動学では人々に一定の141ハンノウをひきおこすモノを解発142シンゴウという。商品は欲望の解発143ソウチなのだ。(略)ほんの少し前まで、真冬にアイスクリームが食べたいとダダをこねる子供は、雪の日にシュヴァルツ・ヴァルトにまま娘こを母摘みに行かせるグリム童話の中の144イジワルなまま母ほどに、無理145ナンダイをふきかけるけんのんな存在だった。しかし、146フカノウなことを人々は望まない。ほんとうに無理なことなら、親は子供の欲望をピシャリと抑えつける。子供は真冬にもアイスクリームが売っていることを知っているから欲しがらるのだ。手に入ることを知っているのに、その欲望を147ヨクセイするのは難しい。

現在発展148トジヨウ国の人々を149オンソっているとはじめない150シヨウヒ欲求はそのようなものだ。

## 【第6回】小松和彦『妖怪文化入門』〈上段・読み／下段・書き〉

ところで、<sup>151</sup>前述の「鬼」の<sup>152</sup>特徴は、二つに分けることができる。

一つは図像的<sup>153</sup>説明である。鬼の姿かたちは、現代の絵本やコミックなどにたくさん<sup>154</sup>描かれている。そのほとんどは、姿は人間で、顔は醜悪で、<sup>155</sup>肌の色は赤や青や黄、黒といった<sup>156</sup>原色、筋骨逞しく、虎の皮の褌ふんどしを<sup>157</sup>締め、牛などの動物の角に<sup>158</sup>似た角を一つないし二つ、ときにはそれ以上をもち、口の左右からは<sup>159</sup>鋭い牙がはみ出ている。このなかでも頭に角が生えているということが、もっとも<sup>160</sup>重要なしるしである。多くの場合、頭の角の<sup>161</sup>有無で鬼であるかどうかの<sup>162</sup>判断が下されるといってもよいほどである。角を除いた鬼の図像を見た人の何人が、「これは鬼だ」と判断するだろうか。ほとんどの人は「鬼に姿かたちはそっくりだが、角がないので鬼といってよいものか判断に<sup>163</sup>困る」というのではなからうか。角は鬼であることを物語る中心的シンボルであり、それに従属するかたちでその他の図像的特徴があるわけである。

とはいえ、「鬼」と呼ばれながらも、角がないような絵像も、たしかにある。

しかし、そのような図像は<sup>164</sup>典型的なイメージの成立以前のイメージ、あるいは成立後における<sup>165</sup>変則的なイメージとして<sup>166</sup>理解すべきものであろう。

いま一つの特徴は、図像にも<sup>167</sup>暗示されているが、鬼の行動上の性格である。鬼の住みかは、夜の<sup>168</sup>闇の彼方、人間世界以外のどこかで、節分の夜には必ず人間世界に<sup>169</sup>登場し、(略)人間の<sup>170</sup>富を奪い取ったりする。

こうした現代人が<sup>171</sup>普通に思い描く鬼の<sup>172</sup>意味とイメージを、私なりに言い直す、「鬼」とは、日本人が<sup>173</sup>抱く「人間」の否定形、つまり<sup>174</sup>反社会的・<sup>175</sup>反道徳的「人間」として<sup>176</sup>造形された<sup>177</sup>概念・イメージ、ということになる。すなわち、「人間」という概念を成立させるために、「鬼」という概念がその反対概念として作り出されたのである。つまり、鬼の性格のエッセンスは、国語<sup>178</sup>辞典に述べられているように、「怪力・勇猛・<sup>179</sup>無慈悲で、恐ろしい」というふうに<sup>180</sup>集約されるわけである。

ところで、<sup>151</sup>ゼンジュツの「鬼」の<sup>152</sup>トクチヨウは、二つに分けることができる。

一つは図像的<sup>153</sup>セツメイである。鬼の姿かたちは、現代の絵本やコミックなどにたくさん<sup>154</sup>エガかれている。そのほとんどは、姿は人間で、顔は醜悪で、<sup>155</sup>ハダの色は赤や青や黄、黒といった<sup>156</sup>ゲンシヨク、筋骨逞しく、虎の皮の褌ふんどしを<sup>157</sup>シメ、牛などの動物の角に<sup>158</sup>ニタ角を一つないし二つ、ときにはそれ以上をもち、口の左右からは<sup>159</sup>スルドい牙がはみ出ている。このなかでも頭に角が生えているということが、もっとも<sup>160</sup>ジユウヨウなしるしである。多くの場合、頭の角の<sup>161</sup>ウムで鬼であるかどうかの<sup>162</sup>ハンダンが下されるといってもよいほどである。角を除いた鬼の図像を見た人の何人が、「これは鬼だ」と判断するだろうか。ほとんどの人は「鬼に姿かたちはそっくりだが、角がないので鬼といってよいものか判断に<sup>163</sup>コマル」というのではなからうか。角は鬼であることを物語る中心的シンボルであり、それに従属するかたちでその他の図像的特徴があるわけである。

とはいえ、「鬼」と呼ばれながらも、角がないような絵像も、たしかにある。

しかし、そのような図像は<sup>164</sup>テンケイテキなイメージの成立以前のイメージ、あるいは成立後における<sup>165</sup>ヘンソクテキなイメージとして<sup>166</sup>リカイすべきものである。

いま一つの特徴は、図像にも<sup>167</sup>アンジされているが、鬼の行動上の性格である。鬼の住みかは、夜の<sup>168</sup>ヤミの彼方、人間世界以外のどこかで、節分の夜には必ず人間世界に<sup>169</sup>トウジョウウし、(略)人間の<sup>170</sup>トミを奪い取ったりする。

こうした現代人が<sup>171</sup>フツウに思い描く鬼の<sup>172</sup>イミとイメージを、私なりに言い直す、「鬼」とは、日本人が<sup>173</sup>イタク「人間」として<sup>176</sup>ゾウケイされた<sup>177</sup>ガイネン・イメージ、ということになる。すなわち、「人間」という概念を成立させるために、「鬼」という概念がその反対概念として作り出されたのである。つまり、鬼の性格のエッセンスは、国語<sup>178</sup>ジテンに述べられているように、「怪力・勇猛・<sup>179</sup>ムジヒで、恐ろしい」というふうに<sup>180</sup>シユウヤクされるわけである。

## 【第7回】和辻哲郎『古寺巡礼』へ上段・読み／下段・書き

人間生活を181**宗教的**とか、知的とか、道徳的とかいうふうには截然さいぜんと區別してしまふことは正しくない。それは182**具体的**な一つの生活をバラバラにし、生きた全体としてつかむことを不可能にする。しかし一つの183**側面**をその184**著しい**特徴によって他と區別して185**観察**するということは、それが全体の側面であることを忘れない限り、186**依然**として必要なことである。この意味では、宗教的生活と享樂の生活とは、時折ときおり187**不可分**に結合しているにかかわらず、なお注意深い區別を受けなくてはならぬ。仏徒の生活も、この區別から脱のがれることはできない。仏教の礼拝らいはい188**儀式**や殿堂や189**裝飾**芸術は、決して宗教的生活の190**本質**に191**属する**ものではない。宗教的生活はこれらのすべてを欠いてもかまわない。荒野のなかにあつて、192**色彩**と音楽とのあらゆる人工的な試みを離れ、ただ絶対者に対する帰依と信頼、そうしてこの絶対者に193**指導**せられる194**克己**、忍辱にんにく、195**慈愛**の實行、——それだけでも十分なのである。また他方では、官能を悦よろこばせる芸術はいうまでもなく、精神を高め心を196**浄化**する197**芸術**であつても、それをただ享樂するだけであるならば、かかる人を宗教的生活にひき入れることはできない。だから仏徒の教団においても、キリスト者の198**教会**においても、199**原始的**な200**素朴**な活力を持つていた間は、決して芸術と結びつかなかった。むしろ芸術をば、その感性的な201**特質**のゆえに、202**排斥**する立場にある。これは烈はげしい203**情熱**をもつて宗教的生活の内に突入しようとするものにとつて、きわめて自然なことである。

しかし芸術が人の精神を高め心を浄化する力を持つことは、204**無視**さるべきでない。たといこの美的205**感情移入**が、206**享受**者の実生活ではなくて、ただ207**空想**の世界の出来事に過ぎぬとしても、それはまだ実現せられないより高き自己を自分の前に208**展開**して見せることによつて、実生活にいい刺戟しげきを与え、実行の209**動機**を産み出すことがある。たとえば宗教の儀式に音楽を用いれば、それはシヨペンハウエルのいわゆる一時的解脱げだつに人を導き、法悦と解脱への人々の210**要求**を強く刺戟することになるであろう。

人間生活を181**シユウキヨウテキ**とか、知的とか、道徳的とかいうふうには截然さいぜんと區別してしまふことは正しくない。それは182**グタイテキ**な一つの生活をバラバラにし、生きた全体としてつかむことを不可能にする。しかし一つの183**ソクメン**をその184**イチジル**しい特徴によって他と區別して185**カンサツ**するということは、それが全体の側面であることを忘れない限り、186**イゼン**として必要なことである。この意味では、宗教的生活と享樂の生活とは、時折ときおり187**フカブン**に結合しているにかかわらず、なお注意深い區別を受けなくてはならぬ。仏徒の生活も、この區別から脱のがれることはできない。仏教の礼拝らいはい188**ギンキ**や殿堂や189**ソウシヨク**芸術は、決して宗教的生活の190**ホンシン**に191**ゾク**するものではない。宗教的生活はこれらのすべてを欠いてもかまわない。荒野のなかにあつて、192**シンサイ**と音楽とのあらゆる人工的な試みを離れ、ただ絶対者に対する帰依と信頼、そうしてこの絶対者に193**シドウ**せられる194**コツキ**、忍辱にんにく、195**ジアイ**の實行、——それだけでも十分なのである。また他方では、官能を悦よろこばせる芸術はいうまでもなく、精神を高め心を196**ジヨウカ**する197**ゲイジツ**であつても、それをただ享樂するだけであるならば、かかる人を宗教的生活にひき入れることはできない。だから仏徒の教団においても、キリスト者の198**キョウカイ**においても、199**ゲンシテキ**な200**ソボク**な活力を持つていた間は、決して芸術と結びつかなかった。むしろ芸術をば、その感性的な201**トクシツ**のゆえに、202**ハイセキ**する立場にあつた。これは烈はげしい203**ジヨウネツ**をもつて宗教的生活の内に突入しようとするものにとつて、きわめて自然なことである。

しかし芸術が人の精神を高め心を浄化する力を持つことは、204**ムシ**さるべきでない。たといこの美的205**カンジョウイニユウ**が、206**キョウジュ**者の実生活ではなくて、ただ207**クウソウ**の世界の出来事に過ぎぬとしても、それはまだ実現せられないより高き自己を自分の前に208**テンカイ**して見せることによつて、実生活にいい刺戟しげきを与え、実行の209**ドウキ**を産み出すことがある。たとえば宗教の儀式に音楽を用いれば、それはシヨペンハウエルのいわゆる一時的解脱げだつに人を導き、法悦と解脱への人々の210**ヨウキユウ**を強く刺戟することになるであろう。

## 【第8回】「国連憲章」へ上段・読み／下段・書き

われら連合国の人民は、われらの一生のうちに二度まで言語に絶する<sup>211</sup>悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救い、基本的人権と人間の<sup>212</sup>尊厳及び<sup>213</sup>価値と男女及び大小各国の同権とに関する信念をあらためて<sup>214</sup>確認し、正義と条約その他の国際法の源泉から生ずる<sup>215</sup>義務の<sup>216</sup>尊重とを<sup>217</sup>維持することができ条件を確立し、一層大きな自由の中で社会的<sup>218</sup>進歩と生活<sup>219</sup>水準の向上とを<sup>220</sup>促進すること並びに、このために、<sup>221</sup>寛容を實行し、且<sup>かつ</sup>、<sup>222</sup>善良な<sup>223</sup>隣人として互いに平和に生活し、国際の平和及び安全を維持するためにわれらの力を合わせ、共同の利益の場合を<sup>224</sup>除く外は武力を用いないことを原則の<sup>225</sup>受諾と方法の設定によって<sup>226</sup>確保し、すべての人民の経済的及び社会的発達を促進するために国際機構を用いることを決意して、これらの目的を達成するために、われらの努力を<sup>227</sup>結集することに決定した。よって、われらの各自の政府は、サン・フランシスコ市に会合し、全権<sup>228</sup>委任状を示してそれが良好<sup>229</sup>妥当であると認められた代表者を通じて、この国際連合憲章に同意したので、ここに国際連合という国際<sup>230</sup>機構を設ける。

国際連合の目的は、次のとおりである。

1. 国際の平和及び安全を維持すること。そのために、平和に対する<sup>231</sup>脅威の防止及び<sup>232</sup>除去と侵略行為その他の平和の<sup>233</sup>破壊の鎮圧とのため有効な集団的<sup>234</sup>措置をとること並びに平和を破壊するに至る虞<sup>おそれ</sup>のある国際的の<sup>235</sup>紛争又は<sup>236</sup>事態の調整または解決を平和的手段によって且つ正義及び国際法の原則に従って実現すること。
2. 人民の同権及び自決の原則の尊重に<sup>237</sup>基礎をおく諸国間の友好関係を発展させること並びに世界平和を強化するために他の<sup>238</sup>適当な措置をとること。
3. 経済的、社会的、文化的または人道的性質を有する国際問題を解決することについて、並びに人種、性、言語または宗教による差別なくすべての者のために人権及び基本的自由を尊重するように<sup>239</sup>助長<sup>240</sup>奨励することについて、国際協力を達成すること。

われら連合国の人民は、われらの一生のうちに二度まで言語に絶する<sup>211</sup>ヒアイを人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救い、基本的人権と人間の<sup>212</sup>ソングン及び<sup>213</sup>カチと男女及び大小各国の同権とに関する信念をあらためて<sup>214</sup>カクニンし、正義と条約その他の国際法の源泉から生ずる<sup>215</sup>ギムの<sup>216</sup>ソynchウとを<sup>217</sup>イジすることができ条件を確立し、一層大きな自由の中で社会的<sup>218</sup>シンポと生活<sup>219</sup>スイジュンの向上とを<sup>220</sup>ソクシンすること並びに、このために、<sup>221</sup>カンヨウを實行し、且<sup>かつ</sup>、<sup>222</sup>ゼンリヨウな<sup>223</sup>リンジンとして互いに平和に生活し、国際の平和及び安全を維持するためにわれらの力を合わせ、共同の利益の場合を<sup>224</sup>ノゾく外は武力を用いないことを原則の<sup>225</sup>ジュダクと方法の設定によって<sup>226</sup>カクホし、すべての人民の経済的及び社会的発達を促進するために国際機構を用いることを決意して、これらの目的を達成するために、われらの努力を<sup>227</sup>ケツシュウすることに決定した。よって、われらの各自の政府は、サン・フランシスコ市に会合し、全権<sup>228</sup>イニン状を示してそれが良好<sup>229</sup>ダトウであると認められた代表者を通じて、この国際連合憲章に同意したので、ここに国際連合という国際<sup>230</sup>キコウを設ける。

国際連合の目的は、次のとおりである。

1. 国際の平和及び安全を維持すること。そのために、平和に対する<sup>231</sup>キョウウイの防止及び<sup>232</sup>ジョキョキと侵略行為その他の平和の<sup>233</sup>ハカイの鎮圧とのため有効な集団的<sup>234</sup>ソチをとること並びに平和を破壊するに至る虞<sup>おそれ</sup>のある国際的の<sup>235</sup>フンソウ又は<sup>236</sup>ジタイの調整または解決を平和的手段によって且つ正義及び国際法の原則に従って実現すること。
2. 人民の同権及び自決の原則の尊重に<sup>237</sup>キンをおく諸国間の友好関係を発展させること並びに世界平和を強化するために他の<sup>238</sup>テキトウな措置をとること。
3. 経済的、社会的、文化的または人道的性質を有する国際問題を解決することについて、並びに人種、性、言語または宗教による差別なくすべての者のために人権及び基本的自由を尊重するように<sup>239</sup>ジヨチヨウ<sup>240</sup>シヨウレイすることについて、国際協力を達成すること。

## 【第9回】レイチェル・カーソン『沈黙の春』(上段・読み/下段・書き)

塩化炭化水素の殺虫剤がきわめて241危険なのは、肝臓に242影響を243及ぼす点である。からだのなかにはいろいろな器官があるが、なかでも244特異な存在が肝臓なのだ。その自由自在の245活躍ぶり、かけがえのない246機能——まさにほかにくらべられない。生命のさまざまな活動を統轄とうかこしているこの肝臓が少しでもきずつけば、おそろしいことになる。247脂肪を消化する胆汁を出すばかりでなく、その248占める249特殊な位置のため、また血液250循環の通路にあたるために、肝臓に251供給される血は消化器系からじかに送られ、主な252食物の253代謝と深い関係がある。たとえば、肝臓はグリコーゲンという形で糖分を254蓄積し、たえず一定量のグルコースを255吐き出しては、血液内の糖分を正常なレベルに256保っている。からだの蛋白質を合成するのも肝臓で、血液257凝固と関連する、血漿けっしょうの258主要な要素も259含有している。肝臓はまた血漿中のコレステロールを適量に押し、男性・女性ホルモンが260過剰になると、不活性化する。また、たくさんのビタミンの261倉庫で、ビタミンのなかのあるものは、逆に肝臓自身の正常な働きを助けている。

肝臓が正常に働かなければ、からだは262無防備そのもので、たえずいろいろな毒が263侵入してくる。健康なからだ自身も物質代謝のときに有毒な物質を生み出すが、肝臓がすばやくその毒素を抜きさつて、害を264未然に防いでしまう。外部からの毒にも、肝臓は活躍する。マラソンやメトキシクロールのような殺虫剤は《無害》といわれるが、それは肝臓の265酵素のおかげなのである。この酵素があればこそ266分子構造が変化し、毒性が減る。私たちがいろいろな毒に身をさらしても安全なのは、このようなわけだといっている。

だが、内外から押し寄せる毒をはねのけるとり、でも、いまやゆるぎはじめ、くずれようとしている。肝臓が殺虫剤でいためつけられる。すると267解毒268作用が失われるだけでなく、そのほかひろい269範囲にわたるさまざまな機能が故障してくる。影響は種々様々で、それも直接あらわれることがなく、何でまたこんなことになったのか、本当の270原因がわからないことも多い。

塩化炭化水素の殺虫剤がきわめて241キケンなのは、肝臓に242エイキョウを243オヨぼす点である。からだのなかにはいろいろな器官があるが、なかでも244トクイな存在が肝臓なのだ。その自由自在の245カツヤクぶり、かけがえのない246キノウ——まさにほかにくらべられない。生命のさまざまな活動を統轄とうかこしているこの肝臓が少しでもきずつけば、おそろしいことになる。247シボウを消化する胆汁を出すばかりでなく、その248シめる249トクシュな位置のため、また血液250ジュンカンの通路にあたるために、肝臓に251キョウキウされる血は消化器系からじかに送られ、主な252シヨクモツの253タイシャと深い関係がある。たとえば、肝臓はグリコーゲンという形で糖分を254チクセキし、たえず一定量のグルコースを255ハき出しては、血液内の糖分を正常なレベルに256タモっている。からだの蛋白質を合成するのも肝臓で、血液257ギョウコと関連する、血漿けっしょうの258シユウウな要素も259ガンユウしている。肝臓はまた血漿中のコレステロールを適量に押し、男性・女性ホルモンが260カジョウになると、不活性化する。また、たくさんのビタミンの261ソウコで、ビタミンのなかのあるものは、逆に肝臓自身の正常な働きを助けている。

肝臓が正常に働かなければ、からだは262ムボウビそのもので、たえずいろいろな毒が263シンニウしてくる。健康なからだ自身も物質代謝のときに有毒な物質を生み出すが、肝臓がすばやくその毒素を抜きさつて、害を264ミゼンに防いでしまう。外部からの毒にも、肝臓は活躍する。マラソンやメトキシクロールのような殺虫剤は《無害》といわれるが、それは肝臓の265コウソのおかげなのである。この酵素があればこそ266ブンシ構造が変化し、毒性が減る。私たちがいろいろな毒に身をさらしても安全なのは、このようなわけだといっている。

だが、内外から押し寄せる毒をはねのけるとり、でも、いまやゆるぎはじめ、くずれようとしている。肝臓が殺虫剤でいためつけられる。すると267ゲドク268サヨウが失われるだけでなく、そのほかひろい269ハンイにわたるさまざまな機能が故障してくる。影響は種々様々で、それも直接あらわれることがなく、何でまたこんなことになったのか、本当の270ゲンインがわからないことも多い。

【第10回】中村和代・藤田さつき  
『大量廃棄社会 アパレルとコンビニの不都合な真実』

〈上段・読み

／下段・書き〉

2013年4月、Bangladeshの首都ダッカ付近で、8階建てのビル「ラナプラザ」が崩壊する「273事故」が起きた。コンクリートの柱はぼつきりと折れ、<sup>274</sup>原型をとどめない状態にまで崩れ落ちた。がれきに埋もれ、千人を超す人たちが命を落とした。工場の中には五つの縫製工場があり、<sup>275</sup>犠牲者の多くはそこで働く人たちだった。

「事故」とカギ括弧付きで書いたのには、理由がある。ビルが崩壊した原因は、<sup>276</sup>地震や爆発ではなかった。ビルは<sup>277</sup>違法に建て増しされていた疑いがあり、<sup>278</sup>壁にひびが見つかったため、<sup>279</sup>地元警察が前日、<sup>280</sup>待避を<sup>281</sup>要請していた。だが、工場<sup>282</sup>経営者らは<sup>283</sup>操業を続け、大事故を<sup>284</sup>招いた。事故というよりは<sup>285</sup>人災だ。

私はたまたま、その半年前にBangladeshを<sup>286</sup>取材で<sup>287</sup>訪れていた。<sup>288</sup>激な経済成長で都市の人口はふくれあがり、<sup>289</sup>深刻な交通<sup>290</sup>渋滞でカオスといっている状態だった首都ダッカの様子を思い出した。農村部では、「日本の記者が来た」と大騒ぎになり、「自分の話を聞いてほしい」と人々が次々に<sup>291</sup>訴えてきた。工場で働く人たちは、農村部から都市部に働きに来ていた人が多かったという。出会った人たちの顔が思い浮かび、ひとごととは思えなかった。

だが、<sup>292</sup>観光国ではないBangladeshを訪れたことがある日本人はさほど多くないだろう。この時のニュースの<sup>293</sup>映像を見て心を痛めたとしても、安全<sup>294</sup>管理がないがしろにされる途上国の話で、<sup>295</sup>身近な問題とは感じなかった人も多いのではないだろうか。

だが、私たち先進国に暮らす人間が、関係ないとは言いつれない。

ここで作られていたのは、私たちが着るための服だったからだ。Bangladeshの人口は約1億6000万人、1人あたりのGDPは1538ドル(2017年)。アジアの最貧国と言われてきたが、最近はずいぶん経済成長を<sup>296</sup>遂げている。それを支えてきたのが縫製業で、先進国向けの<sup>297</sup>既製服の<sup>298</sup>輸出を担っていることから、「世界のアパレル工場」とも呼ばれるようになった。ユニクロ、GAPなど、<sup>299</sup>低価格の衣料品ブランドが生産<sup>300</sup>拠点を置いていた。

2013年4月、Bangladeshの<sup>271</sup>シウトダッカ<sup>272</sup>フキンで、8階建てのビル「ラナプラザ」が崩壊する「<sup>273</sup>ジコ」が起きた。コンクリートの柱はぼつきりと折れ、<sup>274</sup>ゲンケイをとどめない状態にまで崩れ落ちた。がれきに埋もれ、千人を超す人たちが命を落とした。工場の中には五つの縫製工場があり、<sup>275</sup>ギセイシャの多くはそこで働く人たちだった。

「事故」とカギ括弧付きで書いたのには、理由がある。ビルが崩壊した原因は、<sup>276</sup>ジンシンや爆発ではなかった。ビルは<sup>277</sup>イホウに建て増しされていた疑いがあり、<sup>278</sup>カベにひびが見つかったため、<sup>279</sup>ジモト警察が前日、<sup>280</sup>タイヒを<sup>281</sup>ヨウセイしていた。だが、工場<sup>282</sup>ケイエイシャらは<sup>283</sup>ソウギョウを続け、大事故を<sup>284</sup>マネいた。事故というよりは<sup>285</sup>ジンサイだ。

私はたまたま、その半年前にBangladeshを<sup>286</sup>シュザイで<sup>287</sup>オトズれていた。<sup>288</sup>キウゲキな経済成長で都市の人口はふくれあがり、<sup>289</sup>シンコクな交通<sup>290</sup>ジュウタイでカオスといっている状態だった首都ダッカの様子を思い出した。農村部では、「日本の記者が来た」と大騒ぎになり、「自分の話を聞いてほしい」と人々が次々に<sup>291</sup>ウツタえてきた。工場で働く人たちは、農村部から都市部に働きに来ていた人が多かったという。出会った人たちの顔が思い浮かび、ひとごととは思えなかった。

だが、<sup>292</sup>カンコウ国ではないBangladeshを訪れたことがある日本人はさほど多くないだろう。この時のニュースの<sup>293</sup>エイゾウを見て心を痛めたとしても、安全<sup>294</sup>カンリがないがしろにされる途上国の話で、<sup>295</sup>ミチカな問題とは感じなかった人も多いのではないだろうか。

だが、私たち先進国に暮らす人間が、関係ないとは言いつれない。

ここで作られていたのは、私たちが着るための服だったからだ。Bangladeshの人口は約1億6000万人、1人あたりのGDPは1538ドル(2017年)。アジアの最貧国と言われてきたが、最近はずいぶん経済成長を<sup>296</sup>トげている。それを支えてきたのが縫製業で、先進国向けの<sup>297</sup>キセイ服の<sup>298</sup>ユシユツを担っていることから、「世界のアパレル工場」とも呼ばれるようになった。ユニクロ、GAPなど、<sup>299</sup>テイカカクの衣料品ブランドが生産<sup>300</sup>キョテンを置いていた。

【第1回】「SDGs」の目標と「169」のターゲット①（上段・読み／下段・書き）

1. あらゆる場所のあらゆる**301形態**の**302貧困**を終わらせる

1.1 二〇三〇年までに、現在一日**1.25**ドル未満で生活する人々と**303定義**されている**304極度**の貧困をあらゆる場所で終わらせる。

1.b 貧困**305撲滅**のための行動への投資拡大を**306支援**するため、国、地域及び国際レベルで、貧困層やジェンダーに**307配慮**した開発戦略に基づいた適正な政策的**308枠組み**を**309構築**する。

2. **310飢餓**を終わらせ、食料安全**311保障**及び栄養**312改善**を実現し、**313持続**可能な農業を促進する。

2.2 5歳**314未満**の子どもの発育**315阻害**や**316消耗性****317疾患**について国際的に合意されたターゲットを二〇二五年までに達成するなど、二〇三〇年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、**318若年**女子、妊婦・授乳婦及び**319高齢者**の栄養ニーズへの**320対処**を行う。

3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、**321福祉**を促進する。

3.5 薬物乱用やアルコールの有害な**322摂取**を含む、物質乱用の防止・**323治療**を強化する。

3.9 二〇三〇年までに、有害化学物質、ならびに**324大気**、水質及び土壌の**325汚染**による死亡及び疾病の件数を**326大幅**に減少させる。

4. すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、**327生涯**学習の機会を促進する。

4.1 二〇三〇年までに、すべての子どもが男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、**328無償**かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。

4.a 子ども、障害及びジェンダーに配慮した教育**329施設**を構築・改良し、すべての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を**330提供**できるようにする。

1. あらゆる場所のあらゆる**301ケイタイ**の**302ヒンコン**を終わらせる

1.1 二〇三〇年までに、現在一日**1.25**ドル未満で生活する人々と**303テイギ**されている**304キョクド**の貧困をあらゆる場所で終わらせる。

1.b 貧困**305ボクメツ**のための行動への投資拡大を**306シエン**するため、国、地域及び国際レベルで、貧困層やジェンダーに**307ハイリョ**した開発戦略に基づいた適正な政策的**308ワクグミ**を**309コウチク**する。

2. **310キガ**を終わらせ、食料安全**311ホショウ**及び栄養**312カイゼン**を実現し、**313ジノク**可能な農業を促進する。

2.2 5歳**314ミマン**の子どもの発育**315ソガイ**や**316ショウモウ**性**317シツカン**について国際的に合意されたターゲットを二〇二五年までに達成するなど、二〇三〇年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、**318ジャクネン**女子、妊婦・授乳婦及び**319コウレイシャ**の栄養ニーズへの**320タイシヨ**を行う。

3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、**321フクシ**を促進する。

3.5 薬物乱用やアルコールの有害な**322セツシュ**を含む、物質乱用の防止・**323リヨウ**を強化する。

3.9 二〇三〇年までに、有害化学物質、ならびに**324タイキ**、水質及び土壌の**325オセン**による死亡及び疾病の件数を**326オオハバ**に減少させる。

4. すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、**327シヨウガ**イ学習の機会を促進する。

4.1 二〇三〇年までに、すべての子どもが男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、**328ムシヨウ**かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。

4.a 子ども、障害及びジェンダーに配慮した教育**329シセツ**を構築・改良し、すべての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を**330テイキョウ**できるようにする。

【第12回】「SDGs 17の目標と169のターゲット」②（上段・読み／下段・書き）

5. ジェンダー平等を331達成し、すべての女性及び女兒の能力強化を行う。
- 5.1 あらゆる場所におけるすべての女性及び女兒に対するあらゆる形態の332差別を333撤廃する。
- 5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任334分担を通じて、無335報酬の育児・336介護や家事労働を337認識・338評価する。
6. すべての人々の水と339衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
- 6.1 二〇三〇年までに、すべての人々の、安全で340安価な飲料水の341普遍的かつ342平等なアクセスを達成する。
7. すべての人々の、安価かつ343信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
- 7.a 二〇三〇年までに、再生可能エネルギー、エネルギー344効率、および先進的かつ345環境346負荷の低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究および技術へのアクセスを促進するために国際協力を強化し、エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への347投資を促進する。
8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な348雇用と働きがいのある人間らしい雇用。
- 8.4 二〇三〇年までに、世界の消費と生産における349資源効率を350漸進的に改善させ、先進国351主導の下、持続可能な消費と生産に関する10カ年計画の枠組みに従い、経済成長と環境悪化の352分断を353図る。
9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの354推進を図る。
- 9.b 産業の355多様化や商品への356付加価値創造に資する政策環境の確保などを通じて、開発途上国の国内における技術開発、研究イノベーションを支援する。
10. 各国内及び各国間の不平等を357是正する。
- 10.a 世界358貿易機関(WTO)の協定に従い、後発開発途上国をはじめとして、開発途上国に対する359差異のある特別な340待遇の原則を実施する。

5. ジェンダー平等を331タツセイし、すべての女性及び女兒の能力強化を行う。
- 5.1 あらゆる場所におけるすべての女性及び女兒に対するあらゆる形態の332サベツを333テツパイする。
- 5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任334ブンタンを通じて、無335ホウシュウの育児・336カイゴや家事労働を337ニンシキ・338ヒョウカする。
6. すべての人々の水と339エイセイの利用可能性と持続可能な管理を確保する。
- 6.1 二〇三〇年までに、すべての人々の、安全で340アンカな飲料水の341フヘンテキかつ342ビョウドウなアクセスを達成する。
7. すべての人々の、安価かつ343シンライできる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
- 7.a 二〇三〇年までに、再生可能エネルギー、エネルギー344コウリツ、および先進的かつ345カンキョウ346フカの低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究および技術へのアクセスを促進するために国際協力を強化し、エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への347トウシを促進する。
8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な348コヨウと働きがいのある人間らしい雇用。
- 8.4 二〇三〇年までに、世界の消費と生産における349シゲン効率を350ゼンシンテキに改善させ、先進国351シュドウの下、持続可能な消費と生産に関する10カ年計画の枠組みに従い、経済成長と環境悪化の352ブンタンを353ハカル。
9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの354スイシンを図る。
- 9.b 産業の355タヨウカや商品への356フカ価値創造に資する政策環境の確保などを通じて、開発途上国の国内における技術開発、研究イノベーションを支援する。
10. 各国内及び各国間の不平等を357ゼセイする。
- 10.a 世界358ボウエキ機関(WTO)の協定に従い、後発開発途上国をはじめとして、開発途上国に対する359サイのある特別な360タイグウの原則を実施する。

【第13回】「SDGs 17の目標と169のターゲット」③（上段・読み／下段・書き）

- 11 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な361都市及び人間362居住を実現する。
- 11.4 世界の文化363遺産および自然遺産の保全・開発364制限の取り組みを強化する。
- 11.6 二〇三〇年までに、大気質、365自治体などによる366廃棄物管理への特別な配慮などを通じて、都市部の一人当たり環境影響を367軽減する。
- 12 持続可能な生産消費形態を確保する。
- 12.3 二〇三〇年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食品廃棄物を半減させ、368収穫後369損失などの生産・サプライチェーンにおける食品の損失を370減少させる。
- 13 371気候変動及びその影響を軽減するための372緊急対策を講じる。
- 13.1 すべての国々において、気候変動に373起因する危険や自然374災害に対するレジリエンスおよび375適応力を強化する。
- 14 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
- 14.2 二〇二〇年までに、海洋および沿岸の376生態系のレジリエンス教科や回復取り組みなどを通じた持続的な管理と377保護を行い、大きな悪影響を378回避し、379健全で生産的な海洋を実現する。
- 15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の380劣化の381阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
- 15.6 国際382合意に従って、383遺伝資源の活用による384便宜を公正かつ公平に共有できるように推進するとともに、遺伝資源への385適切なアクセスを推進する。
- 16 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて386効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
- 16.2 子どもに対する387虐待、388搾取、人身売買およびあらゆる形態の暴力および拷問を撲滅する。
- 16.9 二〇三〇年までに、すべての人々に389出生390登録を含む法的な身分証明を提供する。

- 11 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な361トシ及び人間362キョジュウを実現する。
- 11.4 世界の文化363イサンおよび自然遺産の保全・開発364セイゲンの取り組みを強化する。
- 11.6 二〇三〇年までに、大気質、365ジチタイなどによる366ハイキブツ管理への特別な配慮などを通じて、都市部の一人当たり環境影響を367ケイゲンする。
- 12 持続可能な生産消費形態を確保する。
- 12.3 二〇三〇年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食品廃棄物を半減させ、368シュウカク後369ソンシツなどの生産・サプライチェーンにおける食品の損失を370ゲンシヨウさせる。
- 13 371キコウ変動及びその影響を軽減するための372キンキュウ対策を講じる。
- 13.1 すべての国々において、気候変動に373キインする危険や自然374サイガイに対するレジリエンスおよび375テキオウリヨクを強化する。
- 14 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
- 14.2 二〇二〇年までに、海洋および沿岸の376セитайケイのレジリエンス教科や回復取り組みなどを通じた持続的な管理と377ホゴを行い、大きな悪影響を378カイヒし、379ケンゼンで生産的な海洋を実現する。
- 15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の380レツカの381ソシ・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
- 15.6 国際382ゴウイに従って、383イデン資源の活用による384ベンギを公正かつ公平に共有できるように推進するとともに、遺伝資源への385テキセツなアクセスを推進する。
- 16 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて386コウカテキで説明責任のある包摂的な制度を構築する。
- 16.2 子どもに対する387ギャクタイ、388サクシュ、人身売買およびあらゆる形態の暴力および拷問を撲滅する。
- 16.9 二〇三〇年までに、すべての人々に389シュツシヨウ390トウロクを含む法的な身分証明を提供する。

- 420 419 418 417 416 415 414 413 412 411 410 409 408 407 406 405 404 403 402 401
- 叔父(父母の弟) 伯父(父母の兄) 梅雨 田舎 小豆 硫黄 白髪 老舗 吹雪 若人 時雨 木綿 雪崩 風邪 土産 名残 日和 足袋 五月雨 三味線

〈熟字訓〉

【第14回】「SDGs」④「熟字訓」(上段・読み/下段・書き)

17. 持続可能な開発のための391実施392手段を強化し、グローバル・パートナーシップを393活性化する。

17.4 必要に応じた負債による資金394調達、債務395救済および債務再編の促進を目的とした396協調的な政策により、開発途上国の長期的な債務の持続可能性の実現を支援し、重債務貧困国(ETPO)の対外債務への対応により債務リスクを軽減する。

17.19 二〇三〇年までに、持続可能な開発の397進捗状況を測るGDP以外の398尺度を開発する399既存の取り組みを更に前進させ、開発途上国における400統計に関するキャパシティ・ビルディングを支援する。

- 420 419 418 417 416 415 414 413 412 411 410 409 408 407 406 405 404 403 402 401
- オジ(父母の弟) オジ(父母の兄) ツユ イナカ アズキ イオウ シラガ シニセ フブキ ワコウド シグレ モメン ナダレ カゼ ミヤゲ ナゴリ ヒヨリ タビ サミダレ シャミセン

〈熟字訓〉

17. 持続可能な開発のための391ジツシ392シユダンを強化し、グローバル・パートナーシップを393カツセイカする。

17.4 必要に応じた負債による資金394チヨウタツ、債務395キユウサイおよび債務再編の促進を目的とした396キョウチヨウテキナ政策により、開発途上国の長期的な債務の持続可能性の実現を支援し、重債務貧困国(ETPO)の対外債務への対応により債務リスクを軽減する。

17.19 二〇三〇年までに、持続可能な開発の397シンチヨク状況を測るGDP以外の398シャクドを開発する399キンソンの取り組みを更に前進させ、開発途上国における400トウケイに関するキャパシティ・ビルディングを支援する。